

珠洲道路の飾花活動について

当協会は、環境緑化事業の一環として、能登支部が、平成 25 年度から公益目的事業として「植樹等による能登の里山再生活動」に取り組んでおります。

平成 25 年度から 3 か年にわたり能登空港内に、能登地方の代表的なノトキリシマツツジの植樹を実施、昨年度は宝達山水源の森づくりに協力し、クヌギを市民とともに植樹しました。

今年度から、「珠洲道路の飾花」を 2 か年計画で実施することとし、今年度は、8 月 18 日（金）に、珠洲市上戸町北方の珠洲道路に飾花されたプランター600 個を設置しました。

8 月 18 日（金）午後 1 時 30 分から、地元上戸町町内会から 10 名、上戸保育所園児等 9 名、珠洲市役所職員 6 名の参加協力をいただき、当協会能登支部会員 15 名とともにペチュニアの園芸品種である「サフィニア」の花苗が植えられたプランター600 個を珠洲市役所に近い一般国道 249 号線の北方跨線橋から上戸保育所付近の市道までの沿道約 1 km の歩道部に設置しました。

珠洲市では 9 月 3 日から「奥能登国際芸術祭 2017」の開催が予定されていることもあり、この飾花が珠洲市を訪れる多くの人々の目を楽しませてくれるのではないかと考えております。





